

Profile

熊本県出身。1992年九州東海大学工学部を卒業後、テラデザイン株式会社で製造や開発、品質保証などの業務に携わる。国立高等専門学校機構(高専)および財団での産学官連携コーディネーターを経て、2016年より現職。九州・沖縄ブロック(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)を担当。



つながりを広げて 地域に恩返ししたい

JST産学連携展開部
地域イノベーショングループ
マッチングプランナー

三島 淳一郎
Junichiro Mishima



Q マッチングプランナーになった経緯は?

A 技術と経験を生かして地域の発展に貢献。

大学卒業後、地元の外資系半導体検査装置メーカーで製造や開発、品質保証などの業務に携わりました。「技術を生かしながらも地域貢献できる仕事をしたい」と、熊本高等専門学校の産学連携コーディネーターに転職しました。先輩コーディネーターに学びながら、活動の場を学内から学外に広げ、高専間連携を主軸とした研究ネットワークを構築していました。縁あって現職に就き、地域のため、日本のために、企業と大学などの研究機関をつなげる活動をしています。

Q 熊本復興支援に携わって

A 被災、避難生活から立ち上がり復興へ。

マッチングプランナーに着任した直後に熊本地震が発生し、自身も被災者として避難生活を送りました。復旧復興活動を開始することになり、県内の研究機関などの被害状況を調査しながら、JSTとして復旧復興にどう関わられるのか検討しました。そして、熊本復興支援(地域産学バリュープログラム)がスタートし、地域の企業、研究者を支援できればと行動しました。昨年7月21日には熊本地方COC+推進協議会との早期復興に向けた連携および協力に関する協定も結ばれました。一人では何もできないかもしれませんが、それぞれが持つ強みやネットワークを生かして、被災地企業のニーズを聞き、全国のシーズとマッチングすることでそのニーズを解決する取り組みを進めました。今後も地域の産学連携の頼れる相談相手として、企業と研究者のお役に立てればと考えています。



熊本復興支援
(JSTnews 2017年9月号)

Q マッチングプランナーを知ってもらうための取り組み

A SNSも活用して、ネットワークの拡大へ。

フェイスブックやインスタグラムなどのSNSを使って、活動内容を発信しています。SNSは産学連携の活動と非常に親和性の高い媒体だと実感しています。仕事の情報と個人の情報を散りばめながら「この人とつながっていれば役に立つ情報が得られる」とか「人間として興味がある」と感じてもらえるような発信を心がけています。「新しい情報を得られた。新たなつながりができた」というような、一歩前進のお手伝いができることにやりがいを感じています。「あの人に相談したら今までと違う話が聞けた」と思ってもらえたら嬉しいです。これからもさらに多くの人とのつながりを大切にしていきます。

フェイスブック



<https://www.facebook.com/junichiro.mishima.misi>

インスタグラム



jun.mishi34

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

70
古紙リサイクル率70%再生紙を使用

JSTnews

July 2018

発行日/平成30年7月2日
編集発行/国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)総務部広報課
〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3サイエンスプラザ
電話/03-5214-8404 FAX/03-5214-8432
E-mail/jstnews@jst.go.jp ホームページ/https://www.jst.go.jp
JSTnews/https://www.jst.go.jp/pr/jst-news/



最新号バックナンバー